

政界の大物や俳優も 共産主義のリストに

加州の反米活動調査会で調査

米國太平洋沿岸に
大地震を豫測

加州工藝研究所ガ氏言明

米國北西端に強震がある

莫大な損害を蒙るだらうと見

いの強震若しくは地震

花 楽

エンボリオ賣り度し
價格百二十五コントス店にて大繁昌の商店にて
得草多數有り家の都合上好條件にて至急賣り度
し

家庭見習生一名入用
畫面通常の便り與う、好條件にて便急過致します
結婚媒介社會奉仕 申込無料

邦人唯一の娛樂場
御披露
メルカード俱樂部

午後四時半・午前二時迄

聖市ルーラ・タントレーニー

Partido Social Progresso

Diretoria da Sé - Tel. 3-9670

ノロエスチ線アソミツンソノ
ヨリヨリ二十二キロ米突の地点

イ・十五城

珈琲三万三千本内三年物五千本、鐵作

コロニア二桿民地

一、二十城

地城、ベスト二城、住宅、倉庫及び

ト五城、原始林二城、雜作地七城

(棉步合作者日本二家族付) 住宅倉

庫及びコロニヤ六棟、

バウダリヨ二桿民地

イ・十五城

珈琲一万三千本、原始林一城、バスト

ロ、二十城

珈琲三万三千本内三年物五千本、鐵作

コロニア二桿民地

一、十五城

珈琲三万三千本内三年物五千本、鐵作

コロニア二桿民地

まんだんを包んだ疑惑

時流は總てを押しながらとん

波亂の救援會終に解散決議

もしろ同胞總親和に拍車か

動かざる信念組今や邦人社會の九割

其の創設以來西蜀社會に幾多の功罪を残して來た日本戰災救援運動も、明確化する當事と共に役員の熱は急速に冷却しつゝあつたが、今度の六月十一日の定期役員改選期に招集せる協議會の席上に於て

支部長矢崎氏の辭職申出が突現として支部役員一同の辭職問題となりたるも、前役員の辭職後における後任者なく終に救援會そのものを存続せしむるものなりや否やの問題にまで發展したのであるが、

結局山本氏の動議による解散動議を全役員支持し茲に救援會を本年十二月末を以て解散することに決議し、現役員をそれまで存續せしむることになった

在伯同胞大多数の意しを無視し甚多の不祥事件の根幹をもなした救援運動も、あれほど猛烈運動にも拘らず其の参加者は、救援會より發表された統計よりすれば在伯同胞の一割にしか過ぎなかつたこと

とは意外でもあるが、結局は得る所より失する所多き恨みあつた救援會運動の解散は大衆の意しに反してゐた當然の結果とも言ふ可いであらう

即ち其の在伯同胞の九割に

及ぶ大衆は、戰後邦人社會一部の人々によりてやゝもすれば思想的擾乱にも利用された感ある救援運動をあくまで排除して、ひたすら

在伯同胞の正しき思想の下に於ては、救援會に貢献せんとするについたことは今更待たず、此の

と産業の増進に協力して以ては、救援會の正義である所の正しき思想下に於ける同胞總親和に於ける統一と諒解の文化の向上を證明として我々は益々目

と當伯國の商業發展に貢獻

寫真は既報せる聖市近郊ダイナ・ジエリーナ日本人會主催の沖縄古典舞踊の夕四題

写真は當日の大會場に於いて

いた賣店部の女子青年會員

と當伯國の商業發展に貢獻

<p

NOTICIAS DO BRASIL

Diretor-Interino e Proprietário: SEISAKU KUROISHI

N.º 2.867

Fundado em 1917

Redação, Administração e Oficina: Rua Caramuru, 63 — Caixa Postal, 3148 — São Paulo

ANO XXXII

SÃO PAULO, Quarta-feira 15 DE JUNHO DE 1949

Circula às Segundas, Quartas e Sextas



△短歌△

ピア・坂 光男

うから皆寝て寂かなる机に
肉ひん輪織り小夜よけに
はあまたなる子に老ひ給ふ
新鮮に色付くトマト煙草に
豪華帽子は入れ来し

恋に對の手急ぐ新葉の母
妻の夫子は愛みればひが
な我心安くて寝ぐどる成
り頑くる我れが心もや
はらぎぬ村の乙女の日本舞
踊に

ベードロの像仰ぎ見つ養園
の未開の頃をおじ優びける
郊外の秋たけみトマト
の病葉は風にぬけて舞ひ
散る

赤き屋根見えゆる郊外に
旅愁いだきて夕丘に立つ
打ちて醸きさまをとつに
残しぬ
外國に住めば精神のうつろ
ひを惹しまても涙湧きく
た来るかうる世相もいつ
歌友の祖国のひけめを歌ひ
つる短歌をし見れば寂しか
りけり

名を惜む田道きはらをむ
の病葉は風にぬけて舞ひ
散る

旅愁いだきて夕丘に立つ
打ちて醸きさまをとつに
残しぬ
外國に住めば精神のうつろ
ひを惹しまても涙湧きく
た来るかうる世相もいつ
歌友の祖国のひけめを歌ひ
つる短歌をし見れば寂しか
りけり

名を惜む田道きはらをむ
の病葉は風にぬけて舞ひ
散る

旅愁いだきて夕丘に立つ
打ちて醸きさまをとつに
残しぬ
外國に住めば精神のうつろ
ひを惹しまても涙湧きく
た来るかうる世相もいつ
歌友の祖国のひけめを歌ひ
つる短歌をし見れば寂しか
りけり

名を惜む田道きはらをむ
の病葉は風にぬけて舞ひ
散る

旅愁いだきて夕丘に立つ
打ちて醸きさまをとつに
残しぬ
外國に住めば精神のうつろ
ひを惹しまても涙湧きく
た来るかうる世相もいつ
歌友の祖国のひけめを歌ひ
つる短歌をし見れば寂しか
りけり

名を惜む田道きはらをむ
の病葉は風にぬけて舞ひ
散る

旅愁いだきて夕丘に立つ
打ちて醸きさまをとつに
残しぬ
外國に住めば精神のうつろ
ひを惹しまても涙湧きく
た来るかうる世相もいつ
歌友の祖国のひけめを歌ひ
つる短歌をし見れば寂しか
りけり

名を惜む田道きはらをむ
の病葉は風にぬけて舞ひ
散る

旅愁いだきて夕丘に立つ
打ちて醸きさまをとつに
残しぬ
外國に住めば精神のうつろ
ひを惹しまても涙湧きく
た来るかうる世相もいつ
歌友の祖国のひけめを歌ひ
つる短歌をし見れば寂しか
りけり

名を惜む田道きはらをむ
の病葉は風にぬけて舞ひ
散る

旅愁いだきて夕丘に立つ
打ちて醸きさまをとつに
残しぬ
外國に住めば精神のうつろ
ひを惹しまても涙湧きく
た来るかうる世相もいつ
歌友の祖国のひけめを歌ひ
つる短歌をし見れば寂しか
りけり

名を惜む田道きはらをむ
の病葉は風にぬけて舞ひ
散る

旅愁いだきて夕丘に立つ
打ちて醸きさまをとつに
残しぬ
外國に住めば精神のうつろ
ひを惹しまても涙湧きく
た来るかうる世相もいつ
歌友の祖国のひけめを歌ひ
つる短歌をし見れば寂しか
りけり

名を惜む田道きはらをむ
の病葉は風にぬけて舞ひ
散る

旅愁いだきて夕丘に立つ
打ちて醸きさまをとつに
残しぬ
外國に住めば精神のうつろ
ひを惹しまても涙湧きく
た来るかうる世相もいつ
歌友の祖国のひけめを歌ひ
つる短歌をし見れば寂しか
りけり

名を惜む田道きはらをむ
の病葉は風にぬけて舞ひ
散る

旅愁いだきて夕丘に立つ
打ちて醸きさまをとつに
残しぬ
外國に住めば精神のうつろ
ひを惹しまても涙湧きく
た来るかうる世相もいつ
歌友の祖国のひけめを歌ひ
つる短歌をし見れば寂しか
りけり

名を惜む田道きはらをむ
の病葉は風にぬけて舞ひ
散る

旅愁いだきて夕丘に立つ
打ちて醸きさまをとつに
残しぬ
外國に住めば精神のうつろ
ひを惹しまても涙湧きく
た来るかうる世相もいつ
歌友の祖国のひけめを歌ひ
つる短歌をし見れば寂しか
りけり

あゝ世の人は何故に
虚榮の道をのぼるのか
はるばる越え大海の
路は跡なく消えたれど
自由の理をも知らずして
運命を忘れて何とする

省決して天外を

詮ばかりや憂むの煙
汗もせすして机の上で
何を説かんとしてゐるか

東土の多ま世を嘆く

音楽をして何とする

詩によせて世に間ばん

歌はとばく

音節は更けて行く

暮れて哀愁胸を打ち

浮化 狂火も仕りど

詩によせて世に間ばん

夜の街路
—ビーローズ—
浦田 康一

衣のいまとちもく
夜氣に應える
さらめく灯の
誰かを求めて

影はとばく
音節は更けて行く
暮れて哀愁胸を打ち

浮化 狂火も仕りど

詩によせて世に間ばん

歌はとばく

音節は更けて行く
暮れて哀愁胸を打ち

浮化 狂火も仕りど

詩によせて世に